

令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和4年 4月19日(火)

2 調査対象 第6学年児童61名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数、理科)

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、全国平均を下回っていました。
算数は、全国平均を下回っていました。
理科は、全国平均を下回っていました。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

課題が見られた項目

- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
- 算数の勉強は好きですか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では思考力・判断力・表現力等に関する問題に課題が見られました。本校では今後、下記の点について重点的に取り組んでいきます。

- 国語：目的に応じて資料を読み取り、話したり、書いたりする学習活動の充実
 - ・文章は、段落ごとの内容やつながりを意識させながら読み取れるようにします。
 - ・自分の考えを発言する際には、理由を明確にして伝えられるようにします。
- 算数：適用とまとめの時間を確保した授業の継続
 - ・授業では「まとめ」と「振り返り」の時間を確保し、ICTを積極的に活用しながら学習の定着を図ります。
 - ・学習支援員と連携を図りながら、個々のつまずきに応じた支援に努めます。
- 理科：観察等の結果を分析・解釈し、自分の考えをもつことができる授業の実践
- 読書活動の推進
- 学級活動における話し合い活動の充実

6 保護者の皆様へ

児童の家庭学習及び読書時間の確保について、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

- 短期的または長期的な家庭学習のプランを自分で立てて、取り組めるようにします。
- テレビゲームの時間を減らし、活字や良質なテレビ番組等に触れる時間を増やすことで読書や学習への興味関心を高めていけるようにします。